

# 第1回 新・神戸文化ホール整備基本計画検討委員会 議事要旨

日時：平成30年6月6日（水曜） 15：00～17：20

場所：市役所4号館1階 本部員会議室

## 議事内容

### 新・神戸文化ホールの整備場所・規模・機能・仕様について

資料について事務局より説明

<委員からの意見・提案>

### ○整備する場所について（資料7関連）

#### 市の方針

- ・市としては、三宮駅周辺の都市構想の中で、これからの都市間競争に勝っていくためにある程度集積が必要になること、また、神戸の玄関口としてふさわしい文化交流機能や、にぎわい創出機能が必要であるという考えから、建設候補地として、大ホールと区民ホールについては、三宮に整備予定のバスターミナルビル内に、中ホールは、現在の市役所2号館付近を考えている。
- ・一方で、ウォーターフロントでの整備を望む声もお聞きしており、本日はそれぞれのエリアの比較も含めて新・神戸文化ホールを整備するに相応しい場所についてのご議論をいただきたい。

（意見）

- ・本計画は、神戸文化ホールが老朽化し、機能的にも劣ってきており、大規模改修もできない中で、建替えが必要であるということから検討が始まったものであり、ウォーターフロントのシンボル性などの検討とは別に、早期に建設を望みたい。具体的なプロジェクトが進行している三宮が望ましい。
- ・神戸文化ホールはほとんどが市民や市内の芸術団体などによる貸館利用であり、市民のためのホールとして機能していることや高齢化が進んでいることなどを踏まえると、三宮駅周辺など交通の便のよいところに整備するのが望ましい。
- ・市民利用を優先に考えるなら三宮駅周辺のほうが利便性がよいし、発信力という点を優先に考えるならばウォーターフロントがよいと思う。どちらの考え方を優先するかだと思ふ。
- ・神戸のランドマークとなる施設という考え方を優先するなら、ウォーターフロントもあ

と思うが、逆にそのランドマークは神戸文化ホールである必要はなく、他の施設でもよいのではないか。

- ・バスターミナルビル内にホールができるなら、ホールの外観がビルに取り込まれることのないよう、文化を感じるアクセスやデザイン性のよいものにしてほしい。
- ・これから検討していくホールのデザインをきちんと考えれば、三宮にあっても神戸のランドマークになると思う。

## ○規模・機能・仕様について（資料8 関連）

### 市の方針

- ・利用形態を考えると、大ホールは音楽や舞台専用ではなく、多目的ホールとして、今の文化ホールよりも機能の向上を図っていく。
- ・今までの大・中ホールの使われ方が大ホールと区民ホールで担保できるのであれば、例えば2号館付近に整備するホール（中ホール）は音楽専用にするなど、専門的な機能に特化する形で考えることもできるのではないかと考えている。

### （意見）

- ・現状で貸館として対応していることは理解しているが、建ててから50年存在するホールになる。何を指すのかを考えないといけない。
- ・大ホール、中ホール、小ホールとある中で、色々な機能のホールがあつてよく、棲み分けができれば良いと思う。
- ・区民ホールは音楽がきちんと演奏できるホールであつてほしい。
- ・中ホールでは音楽専用ならシューボックスとなっているが、シューボックスの形状で席は円型などもあるのではないか。
- ・演劇はどこのまちでも800席程度がほしいという。しかし実際に800席のホールをみると、後ろの席から舞台が大変遠く見える。
- ・加えて、200～300席のホールも欲しいというのが本音。
- ・大ホールと区民ホールが同時に整備されたとして、大ホール予約時に両方あわせて予約できるようにすることなど、運営の工夫が必要。
- ・大ホールは多目的、中ホールは音楽ホール、区民ホールは多目的ということについて、皆さん同意を得られたと思う。ただ規模とホールの形状についてはまだ議論が必要と思う。